



## 講師プロフィール

FIT大学院 ディーン **メアリー・デイビス (Mary E. Davis) 氏**

ニューイングランド音楽院にて音楽学の修士課程を終え、ハーバード大学で音楽学の博士号を取得。ファッション工科大学 (FIT) 大学院長に就任する前は、1998年から2012年まで、ケース・ウエスタン・リザーブ大学の音楽学部の教員を務め、2009年以降の4年間は同学部の学科長を務める。在任中は、ロックンロール・ホール・オブ・フェイム博物館(ロックの殿堂)の大学側リエゾンとして、また、学内のベイカーノード・センター(人文科学研究科)のアソシエイトディレクターとして尽力した。著書には、Classic Chic: Music, Fashion, and Modernism (2006)、エリック・サティの半生を綴った伝記 Erik Satie (2008)、Waiting for A Train: Jimmie Rodgers's America (2009)、Ballets Russes Style: Diaghilev's Dancers and Paris Fashion (2010) がある。

FIT大学院教授 **パメラ・エルスワース (Pamela Ellsworth) 氏**

ボストンにあるスクール・オブ・ファッション・デザインを卒業後、FITにてテキスタイル・マネジメントを学び、コーネル大学のアパレル&テキスタイル・マネジメント学科を卒業。さらに、FIT大学院のグローバル・ファッション・マネジメント学科の修士号を取得。現在はFIT大学院グローバル・ファッション・マネジメントの学科長を務め、教授として教鞭も執っている。2007年に学科長に選任される以前は、テキスタイル大手企業として知られるバーリントン・インダストリーズにおいて輸出事業の商品開発マネジャーとして勤めながら、同時にアジアとアフリカ地域におけるマーケティングと生産プロジェクトのコンサルティングも行っていた。また、演劇、オペラ、ダンスなどの舞台衣装係として自身のキャリアをスタートさせたという経歴を持ち、現在、コーネル大学の学長諮問委員会コーネルウーマンの招待メンバーでもある。

GFMコース 卒業生 **保田 優衣 氏**

北海道大学経済学部卒。'12年、NYのParsons New School of Designにてファッションマーチャンダイジング準学士号取得。その後、米国老舗ブランドBrooks Brothersの日本支社にて、日米の架け橋となるバイヤーとして活躍。'14年、Tomodachi-Uniqlo奨学生としてFITのGFMコースに参加。卒業後、(株)ICMGにて戦略コンサルタントとして勤務中。

GFMコース 在学生 **平木 裕子 氏**

国際基督教大学教養学部を卒業後、(株)アミナコレクション民芸商品本部仕入部にて勤務。'07年より主任として世界の民芸をベースにした商品の開発、生産、輸入等に幅広く関わり、多くの商品カテゴリ、国や地域を担当。'15年9月よりTomodachi-Uniqlo奨学生としてFITのGFMコースに在学。'16年12月に卒業予定。

日本FIT会 会長 **尾原 蓉子 氏**

日本に初めて「ファッション・ビジネス」の言葉と概念を、1968年に訳書『ファッション・ビジネスの世界』により紹介。以来、ファッション産業発展への貢献と人材育成がライフワークに。旭化成出身。財団法人ファッション産業育成機構IFIビジネススクール設立にも貢献。学長を10年務めた。東京大学卒。FITおよびハーバード・ビジネススクールAMP卒。FIT「生涯功労大賞」、「毎日ファッション大賞・鯨岡阿美子賞」、また「ハーバード・ビジネススクール・ビジネスマン/ウーマン・オブ・ザ・イヤー」を日産自動車社長カルロス・ゴーン氏とともに受賞。一般社団法人WEF代表理事。



## Fashion Institute of Technology (FIT)



<http://www.fitnyc.edu/>

ファッション業界のプロフェッショナル人材育成教育機関として1944年創立。その後ニューヨーク州立大学になる。現在は、ファッションおよび関連分野における、デザイン、テクノロジー、ビジネスの多様なプロフェッショナルを養成する総合大学。コースとしては、2年制・1年制準学士(A.A.S.)コース、4年制学士(B.F.A./B.S.)コース、修士(M.A./Professional Studies/Fine Arts)コースがあり、アパレル、小売、テキスタイル、インテリア、コスメティックス、広告、美術、玩具などの専門分野をカバーする45以上のプログラムを提供している。マンハッタンを中心に立地、「マンハッタン全体がキャンパス」を合言葉に、ビジネスの現場に密着した「実学」の教育に力を入れている。全日制学生数1万人以上、夜間や短期集中講座を含む2万人以上が学ぶ。日本人をはじめ海外からの留学生も多い。

## 日本FIT会

FITのいずれかのコースを卒業あるいは在学の経験がある個人を中心に、会の活動に協力・支援等をいただいている個人、企業を賛助会員とする同窓会組織です。詳しい会の活動等に関しては、<http://fitkai.jp/> をご覧ください。